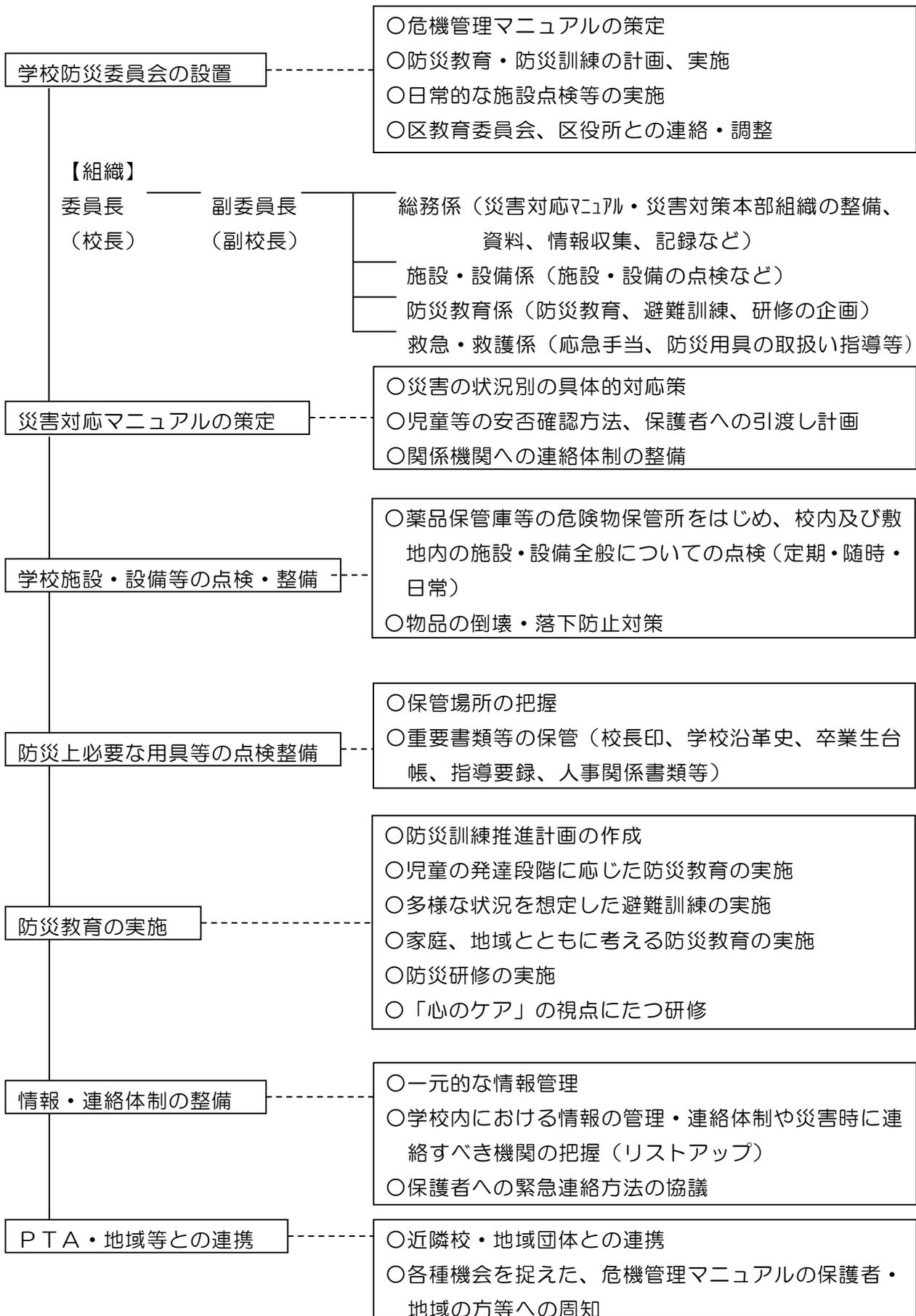


緊急時対応マニュアル

～事故・災害等緊急事態発生時の対応について～

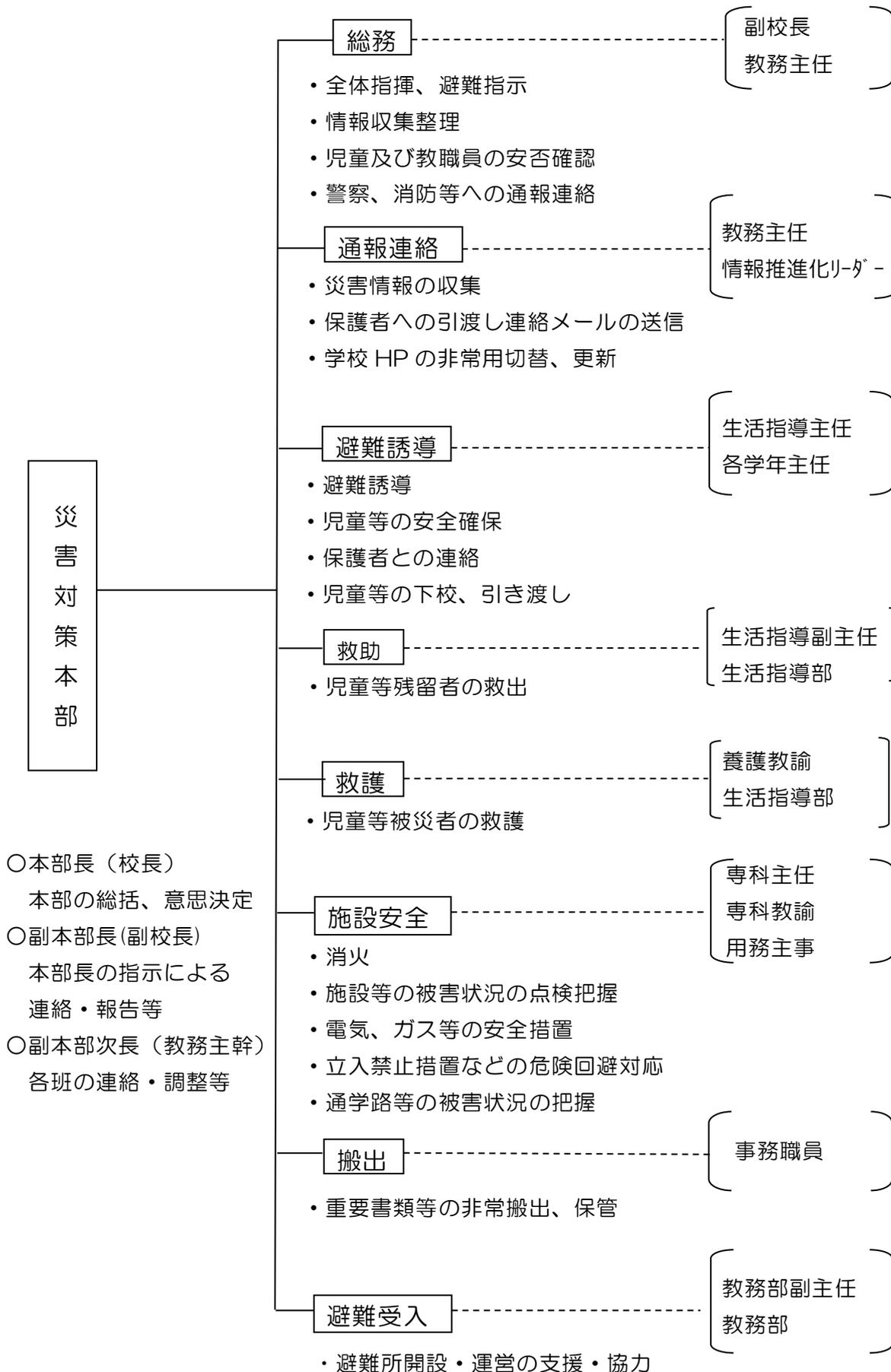
江戸川区立春江小学校

1. 春江小学校における日常的な防災活動



2. 春江小学校 災害対策本部組織

※児童の安全確保・確実な保護者への引き渡しを最優先する



※避難所解説については区危機管理室等と連絡・連携を行う。

＜災害時避難基本事項＞

1. 平常時

- (1) 出席簿の表紙の裏に、在籍数を記入した「確認票」を常備しておく。
- (2) 毎日、職員室前の「児童出欠表」に始業時の出欠状況や、遅刻・早退の状況を記入しておく。

2. 授業中（教員が指導しているとき）… 教員は児童に適切な指示を与え、避難させる。

○避難前

- (1) 緊急放送を良く聞き、避難経路を判断する。
- (2) 「窓をしめ、カーテンを束ねる(開ける)。扉をしめ、電気を消す。」ことを指示する。
- (3) 児童を廊下に出し、2列に並ばせる。

○避難中

- (1) 火事が発生している場合は、ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守らせて移動させる。
- (2) 階段を降りるときは、上の階のクラスが内側、下の階のクラスが外側を歩く。（待たせない）

○人員確認

- (1) 校舎を背にして、クラスごとに出席番号順に並ばせる。
- (2) 担任(教科担任)が点呼を行い、その場に座らせる。
- (3) 担任(教科担任)は、確認票に不在児童の数と名前を書いて副校長に報告する。
「○年○組、在籍○名、欠席○名、現員○名、異常なし・あり(○○が不明)」
*「欠席」とは、その時点での不在児童のこと。（早退・遅刻・出席停止・忌引等を含む）
<避難完了>
- (4) 担任がクラスにつく。

3. 休み時間等（教員が指導していないとき）

○避難前

- (1) 緊急放送を良く聞き、安全を確保する。
- (2) 地震発生の場合には近くの教室に入り、頭を保護する

○避難中

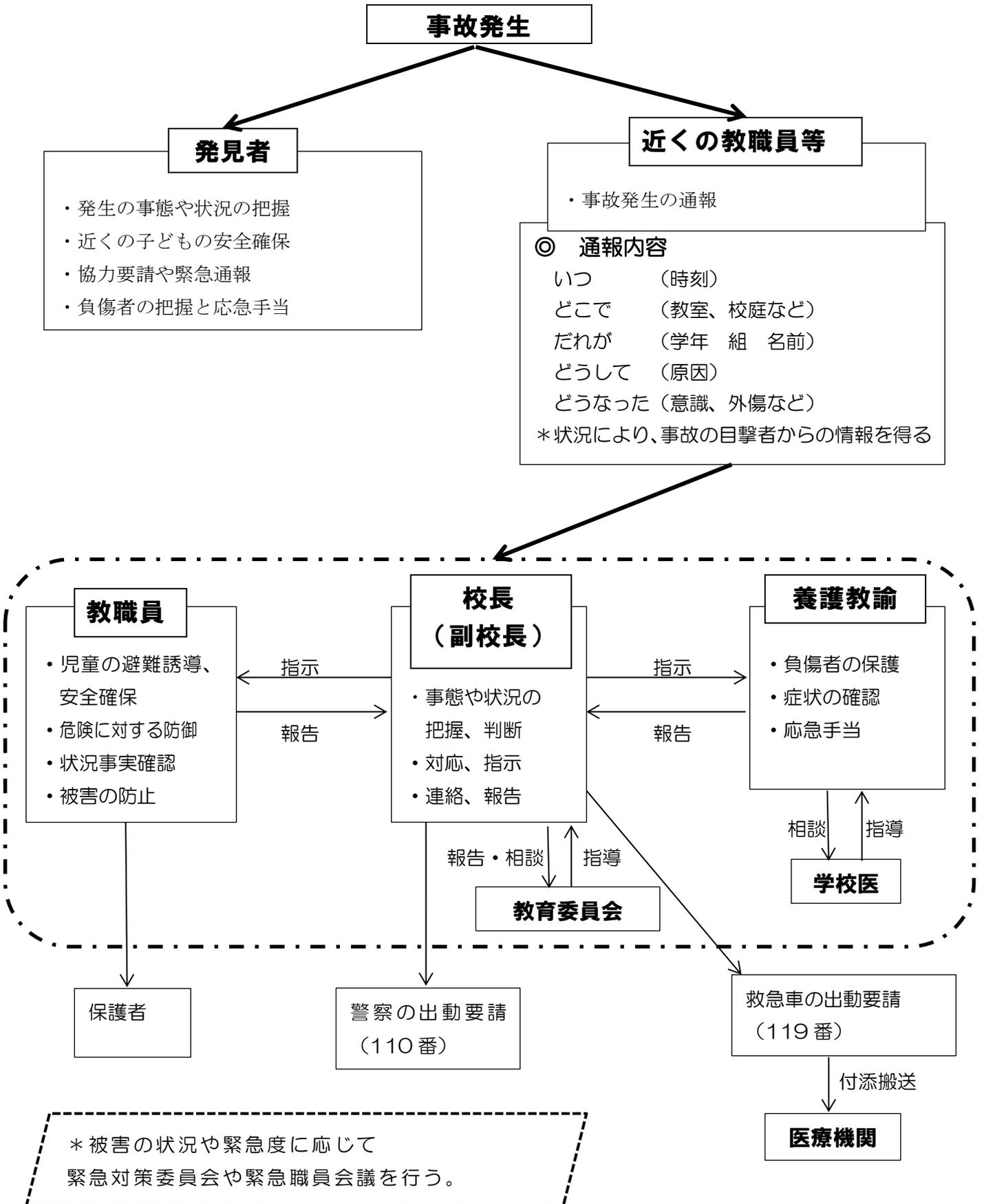
- (1) 火事が発生している場合は、ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守って、安全な避難経路を通して移動する。
- (2) 近くに教職員がいる場合には、その指示に従い避難をする。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして、クラスごとに出席番号順に並び。
- (2) 教員の指示に従って、待機する。

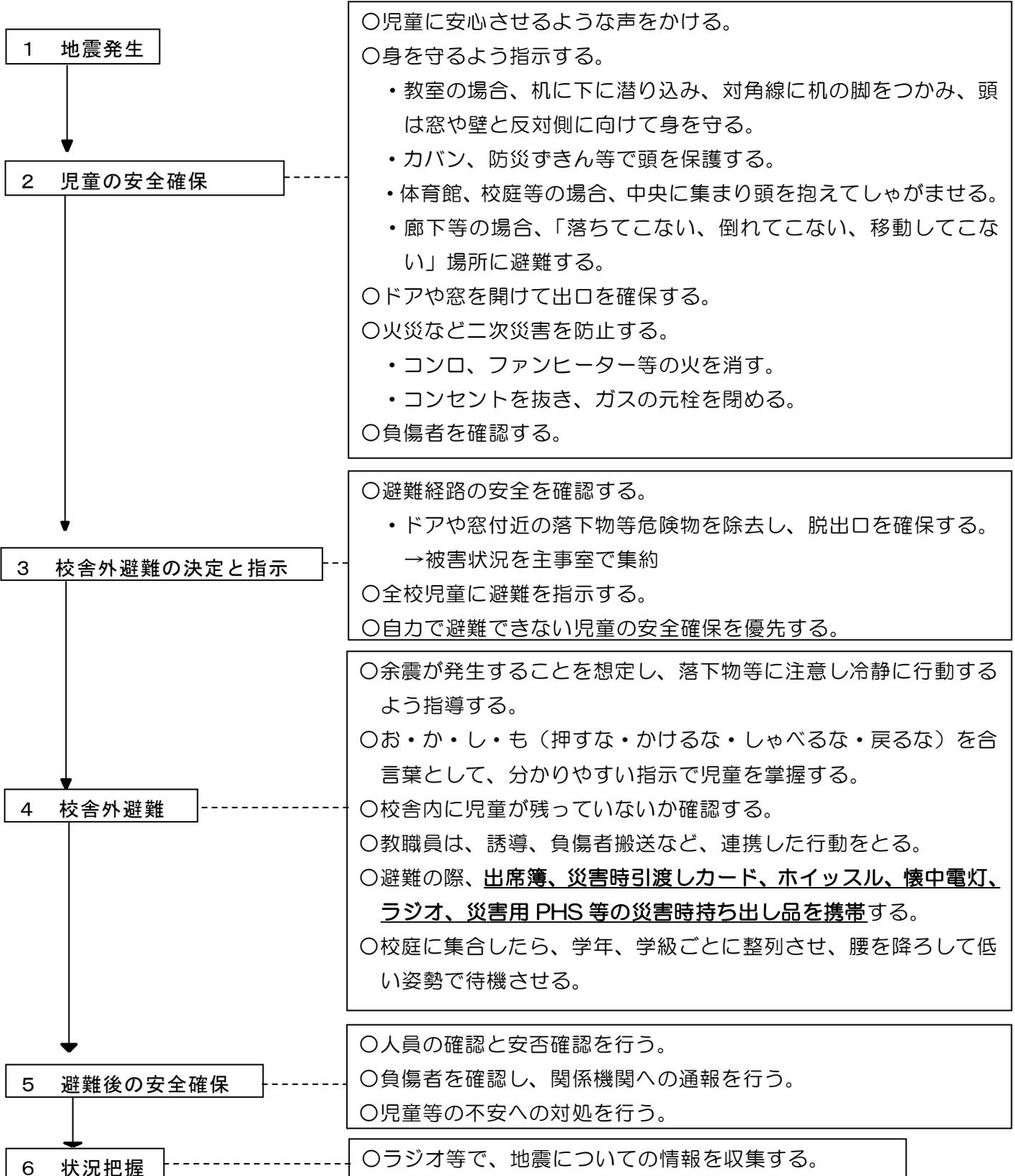
< 事故発生基本事項 >

1 事故現場での対応体制



<地震発生時対応>

1. 教職員在校時に発災した場合の基本的な対応



発生時の対応について

東京都 (江戸川区) の震度	地震発生時の場所別ガイドライン			備 考
	校 内	登 下 校 中	自 宅	
震度 5強 以上 警戒 宣言 発令	<ul style="list-style-type: none"> 授業打ち切り 引き渡し実施 	<ul style="list-style-type: none"> 最寄りの安全な場所に避難 地震が収まったら、学校か自宅の近いほうに行く。 保護者は、通学路を通過って児童を迎えにくる。 学校にいる児童の引き渡し実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅待機 	<ul style="list-style-type: none"> テレビ・ラジオ等で、東京都（江戸川区）の震度が5以上の報道。 春江小学校のホームページ上、メール配信連絡。 ※停電等で掲載できない場合もある。 自宅に児童が戻った場合や自宅待機をする場合は、その旨を学校に連絡するように努める。 学校側が家庭訪問等をして、安否を確認する場合もある。
震度 5弱 以下	【校舎に被害があり、教育活動に支障をきたす場合】(給食が作れない場合を含む)			
	<ul style="list-style-type: none"> 震度5強と同じ対応 			
	【校舎等に被害がほとんどなく、教育活動に支障をきたさない場合】			
	<ul style="list-style-type: none"> 児童の安全を確保しながら教育活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○最寄りの安全な場所に避難 ○地震が収まったら、学校か自宅の近いほうに行く。 ○登校途中家に戻った場合は、その旨を学校に連絡する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全を確保後、自宅待機又は、登校。 ○自宅待機する場合はその旨を学校に連絡する。 	<ul style="list-style-type: none"> 震度5強に同じ。 自宅に児童が戻った場合や自宅待機をする場合は、その旨を学校に連絡する。 学校側が家庭訪問等をして、安否を確認する場合もある。
	<p>(下校の対応) 安全確認の上、集団下校</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後の活動を中止し、道路の状況等を踏まえ、児童の下校時刻に合わせて、下校、又は教師が引率して集団下校を実施する。 集団下校前に保護者が迎えに来た場合は、その時点で保護者に引き渡しを実施する。 集団下校と判断した場合でも、保護者が帰宅困難であると事前に届け出がある場合には、学校で安全を確保する。 ○帰宅が困難と予想される場合には事前に届け出をする。帰宅ができ次第、学校に児童を引き取りに来る。 			

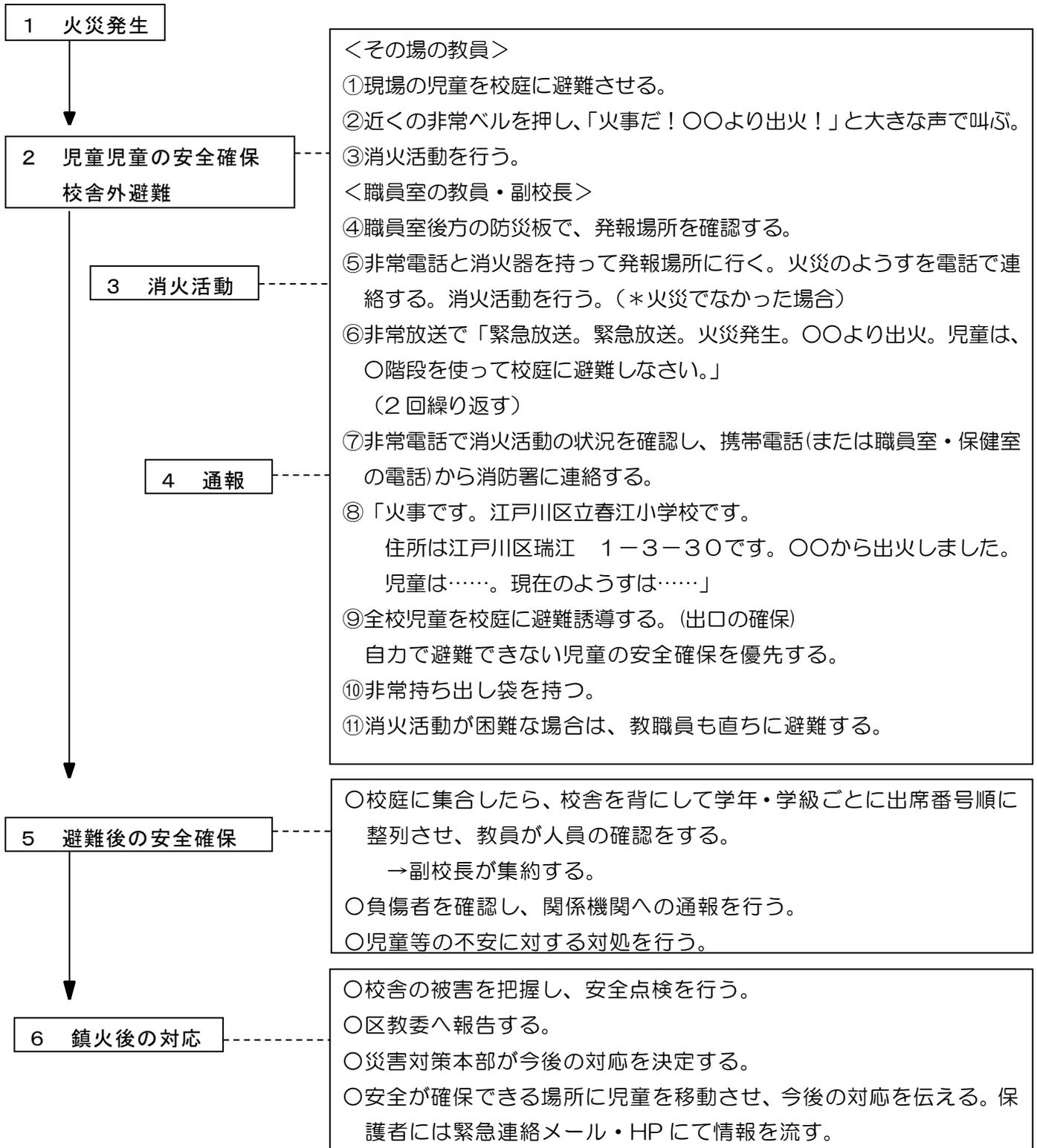
※震度は一応の目安です。被害の状況により、児童の安全第一に考えて対応を変更することもあります。

☆☆☆緊急時の児童引き渡しについて☆☆☆

- ① 原則として、保護者が学校に迎えに来てください。
- ② どうしても保護者が迎えに来ることができない場合には、引取り人名簿に書いてある方のみが引き取ることができます。
- ③ 保護者又は引取り人名簿に書いてある方が迎えに来れない場合には、児童は学校で待機させます。

<火災発生時対応>

1. 教職員在校時に発災した場合の基本的な対応



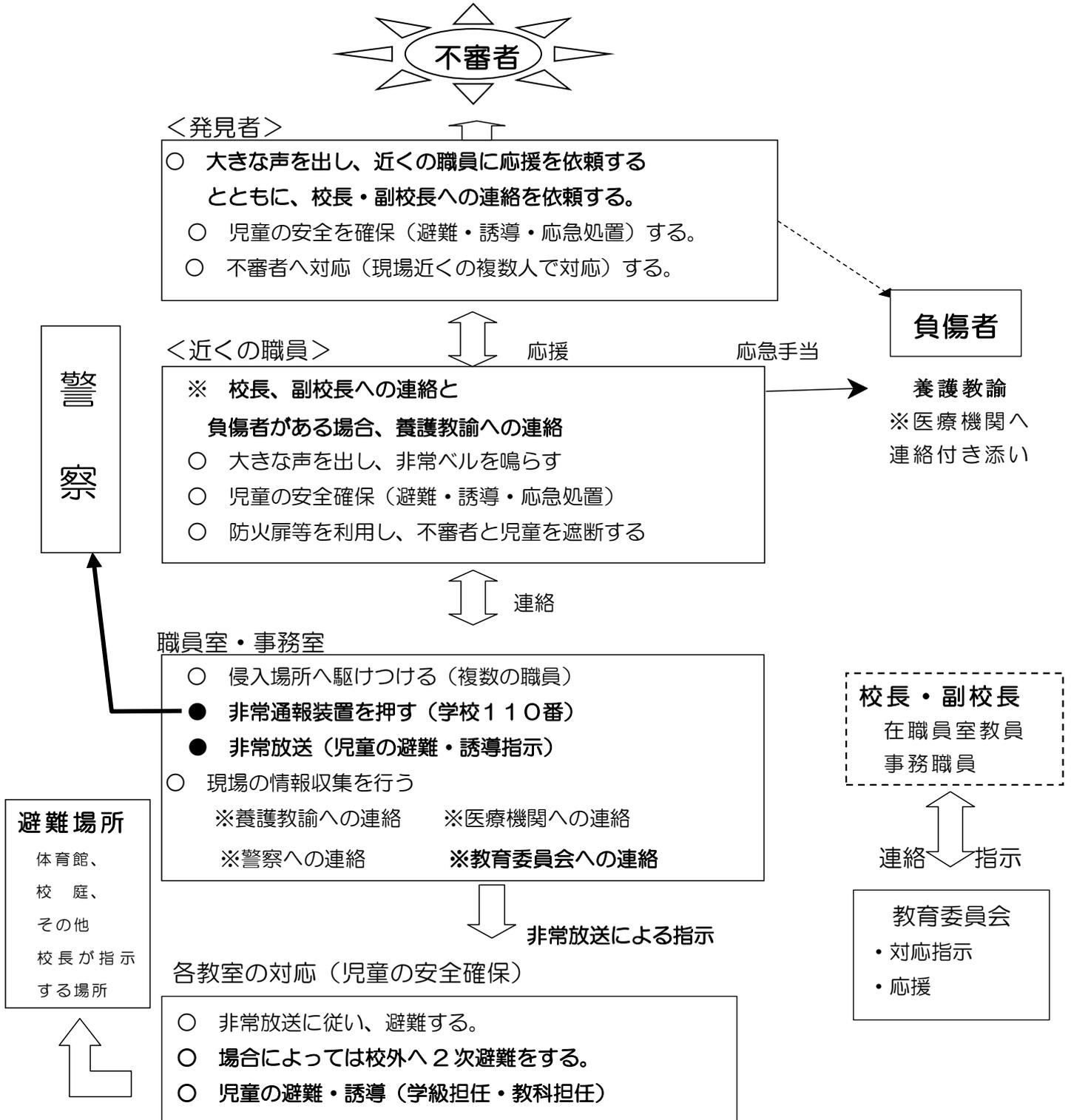
*火災でなかった場合

非常ベルが間違っって押された場合には、主事室の警報盤横のマニュアルにより復旧作業を行う。

<不審者侵入時対応>

1 不審者発見時の基本的な対応

※児童の安全確保を最優先し、不審者の状況によっては臨機応変に対応を行う。



※警察への通報

通常は、小松川警察署に電話連絡を行う。状況により非常通報装置（学校110番）を運用するが、運用に当たっては校長が判断する。

＜熱中症発生時対応＞

熱中症の応急処置

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。
落ち着いて、状況を確認してから対応しましょう。
最初の措置が肝心です。

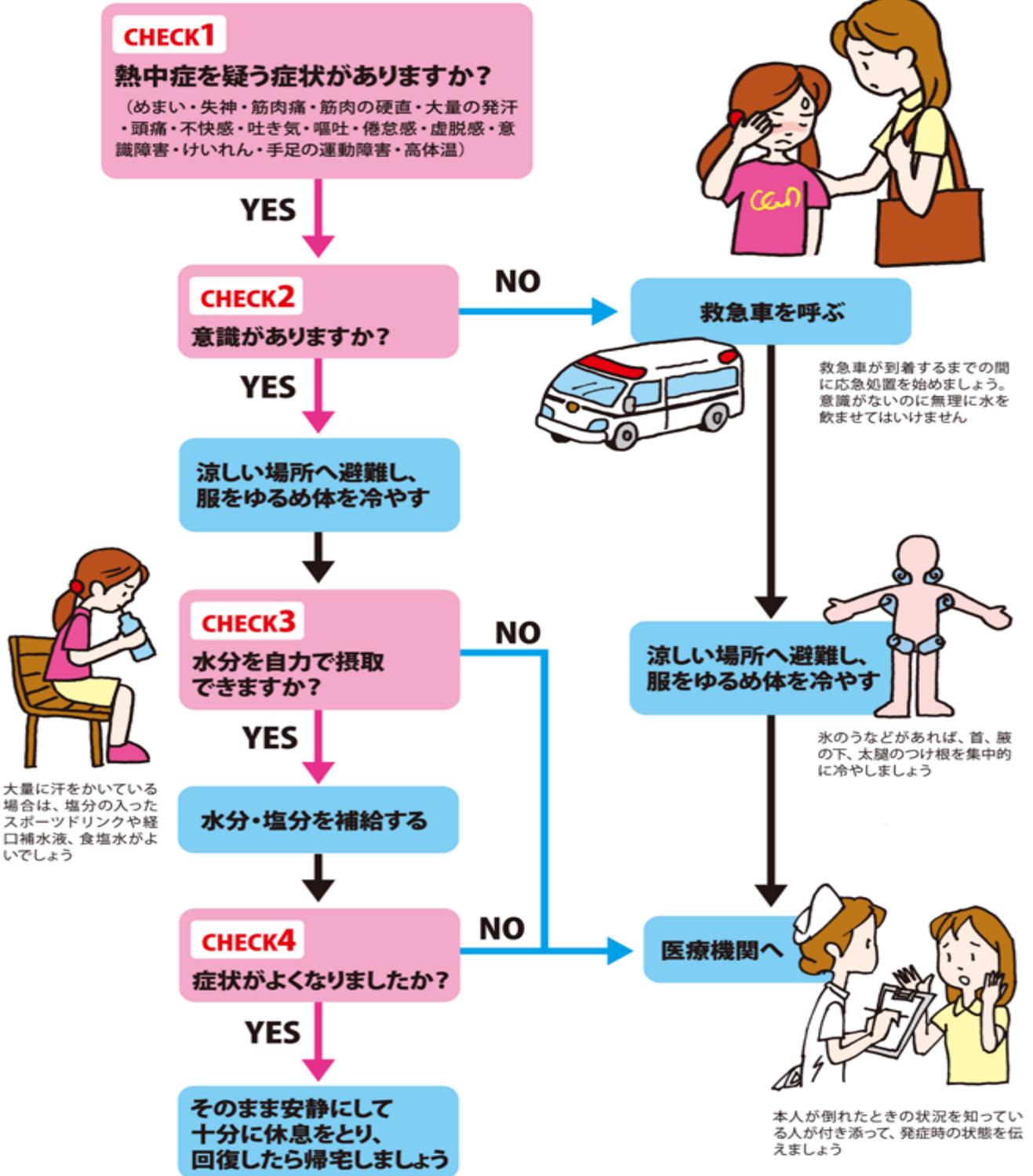


図2-7 熱中症を疑ったときには何をすべきか

< 食物アレルギー発生時対応 >

アレルギー緊急対応時の流れ

江戸川区立春江小学校

時間	児童様子	アレルギー症状	担任	他職員
1 発生初期	誤食の確認 本人の自覚症状が出る 教員が症状を確認	アレルギー前段階 ～アレルギー初期症状	<ul style="list-style-type: none"> ・近接クラスの担任等に助けを求め。 ・保健室へ児童を搬送 ・管理職への報告 ・養護教諭への報告 ・栄養士への報告 	管理職 報告を受ける。 児童の症状確認 事故発生の状況確認 教育委員会へ報告(5662-1634) 養護教諭 報告を受ける。 児童の症状確認 初期対応 保護者への対応確認のための連絡 栄養士 アレルギー表の確認 除去内容の確認 給食保健係へ報告(5662-1626)
2 経過観察	※児童症状小康状態			養護教諭 保健室にて児童状態観察。 管理職へ随時報告
3 症状進行	児童症状悪化	アレルギー症状の悪化 ・5分以内で判断をして 必要に応じてエピペンを使用		管理職 救急車要請判断・救急車要請 江戸川消防署 03(3656)0119 瑞江出張所 03(3679)0119 養護教諭 児童看護(預かっている・薬エピペン使用) 救急車乗車

食物アレルギー緊急時対応マニュアル

アレルギー症状への対応の手順

